

# ティーチング・ポートフォリオ(教育業績ファイル)

|                            |                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                            |
|----------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 教員氏名                       | 二俣 泉                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                       |
| 主な担当科目                     | 音楽療法テクニックⅣ,音楽療法テクニックⅤ,音楽療法テクニックⅥ,音楽療法の理論と技法論Ⅱ,音楽療法の理論と技法論特殊講義Ⅱ,音楽療法各論Ⅰ,音楽療法各論特殊講義Ⅰ,音楽療法実践演習Ⅰ,音楽療法実践特別演習Ⅰ,音楽療法実践演習Ⅱ,音楽療法実践特別演習Ⅱ,音楽療法上級実習Ⅰ(総合),施設実習Ⅰ,卒業論文(原著講読含む),博士論文演習②                                                                                                                                                                                                                                                                    |
| シラバス                       | <a href="#">ここをクリック(本学ポータルサイトトップページが表示されます。)</a><br>※画面下「シラバス」>「シラバスを検索するにはこちらをクリックしてください。」をクリック                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
| 2023年の<br>教育目標・授業に<br>臨む姿勢 | <ol style="list-style-type: none"> <li>1.2019年度から学生の適応能力と学習意欲を高めるための「社会的スキル」と「心理的な柔軟性」を育成する教育を、2022年からは「価値」について考える教育に力を注いできたが、それを継続する。また本年度から学長裁量経費「全学生を対象とした『メンタルヘルスの向上』と『価値の明確化』のための教育プログラムの開発」を開始した。</li> <li>2.学生の研究活動を発展させる。具体的には、日本音楽療法学会、世界音楽療法大会への研究発表に向けた指導を行なう。</li> <li>3.学生の論文作成能力を向上させるための取り組みを行う。</li> <li>4.担任を担当する学生に対しては、個別面談を複数回実施する。また、欠席が目立つ学生については頻回に面談を行ない(原則として必ず専任教員2名で実施)、本人の状態を把握し、事務局とも連携しつつ指導を実施する。</li> </ol> |
| 2023年の教育に関する自己評価           | <ol style="list-style-type: none"> <li>1.学部2年生・3年生は、クラスメイトの関係、チームワークが良好であり、学業についての動機づけが高く保たれた。とりわけ2年生はほとんど欠席がなく、非常に熱心に学業に励んでいた。</li> <li>2.博士課程の学生2名が、7月の第17回世界音楽療法大会(バンクーバー)および9月の第23回日本音楽療法学会学術大会で発表を行なった。</li> <li>3.近年、注目され急速に普及している研究方法「SCAT(Steps for Coding and Theorization)」の創始者である大谷尚氏を特別講師として招聘することを計画し、研究方法に関する特別ワークショップを開催できた。博士論文、卒業論文において複数の学生がこの「SCAT」を活用して研究を行っている。学生の研究に関する見識と能力を大きく向上させることができた。</li> </ol>              |
| 2023年のFD活動に関する自己評価         | 2023年度の第2回FD研修会では、世界音楽療法大会の報告、音楽療法の国家資格化に向けての現状(議員連盟総会開催、議員連盟会長の上川議員の日本音楽療法学会学術大会参加など)、日本音楽療法学会音楽療法カリキュラム・ガイドライン改訂作業の進捗状況等の情報を共有した。こうした情報共有によって、学生の能力を高めるための科目同士の繋がりの重要性について、教員間で共有できたと考えられる。                                                                                                                                                                                                                                              |
| 授業改善のために取り入れた研修内容          | FD研修会での情報の共有(個々の科目での教育は、知識・技術の教育を通じて、知識・技術を運用するための能力(コンピテンシー、リテラシー)を育てることであること、科目間のつながりを意識して、個々の科目の授業での教育にあたること)を行なった。それに加え、専任教員・非常勤教員から、頻回に学生の様子を聴き、逐次、どのような方針で教育を進めるかを相談することを心がけた。                                                                                                                                                                                                                                                       |

## 2023 年度(後期・通年)「学生による授業評価アンケート」結果に対する授業改善計画書

教員コード:2915 教員名:二俣 泉

### 1)アンケート結果に対する所見

音楽実践演習Ⅱ(学部)は殆どの項目で、科目全体平均を上回る得点であった。この科目は音楽療法コースの必修授業で、音楽療法の実践的な内容(現場の問題の解決法のアイデアを短時間で考えるワーク、仲間同士で問題解決の相談する体験、研究方法の紹介)を4名の教員が合同で指導にあたる濃密な授業内容である。それが得点の高さ、学生の満足度の高さに結びついたと考えられる。

芸特応用研究Ⅰは、音楽と社会コースの授業であるが、いずれの項目でも全体平均を下回る結果であった。自由記述の内容を見ると、人前での演奏が苦手な学生とそれに熱心な学生が混在しており、入学までの音楽経験や背景が混在している音楽と社会コース特有の事項が関与している結果であったと推測される。

芸特応用研究Ⅱも音楽と社会コースの授業(演奏の発表)であるが、希望する学生が履修していることもあり、芸特応用研究Ⅰよりは得点が高い傾向が見られた。

音楽療法の理論と技法論Ⅱ特別演習および音楽療法実践特別演習Ⅱは、大学院修士課程の授業であり、高度に専門的な内容を含む内容である。得点は平均を超えている項目とそうでない項目があるが、自由記述欄では肯定的な記述がなされており、授業内容は妥当であったように思われる。

施設実習Ⅱは、全ての項目で全体平均を上回る得点であった。

### 2)要望への対応・改善方策

得点にばらつきのある科目はあるものの、総じて満足度は高く、授業内容は適切であると思われた。高度に専門的な科目については、得点が低くなる傾向が見られるが、これは科目の性質上、やむをえない点があるように思われる。

### 3)今後の課題

最新の研究の知見を積極的に取り入れ、学生の知的好奇心・探究心を刺激する授業内容を工夫し、さらなる充実を図りたい。

以 上